

美郷商工会が中心となり、吉野川市の観光振興に向けたアイデア作りを進めているが、担当者は「地元に誇りを持ってもらうように、住民に対するキャンペーンが必要」とし

きりに話している。

会議で話題が上がったのが、「地元には何

もない」という住民が多いこと。住民が自慢できない土地に、外部の観光客が興味を抱くはずがなく、何とかしなくてはいけないというわけだ。

同商工会では現在、ホームページ（HP）

で中間報告を公開しており、中にはさまざまな興味深いアイデアが詰まっている。HPを

開き、地元の自慢できる点を考え、見つける

機会にはどうだろうか。

閑話

小題

うか。

（竹）